



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2024年
(令和6年) 11月号
No. 207

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8
ペネックスS-3 4階
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213
MAIL: info@suishinkyo.net

- ユニットケア研修推進事業合同会議 <2面>
- リーダー研修講師研修会レポート <2面>
- 介護大学校から <2面>
- 施設紹介(しょうじゅの里三ツ境・神奈川県) <3面>
- 施設紹介(昌寿苑・島根県) <3面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <4面>
- ズバリ回答! 人事・労務のお悩み <4面>
- 入会施設の紹介 <4面>
- 事務局から <4面>

浅尾慶一郎議員 環境大臣に就任

個室ユニットケア推進議員連盟の委員である浅尾慶一郎議員が2024年10月1日付で環境大臣に就任した。



第50回衆議院議員総選挙

個室ユニットケア推進議員連盟 森英介会長らが再選

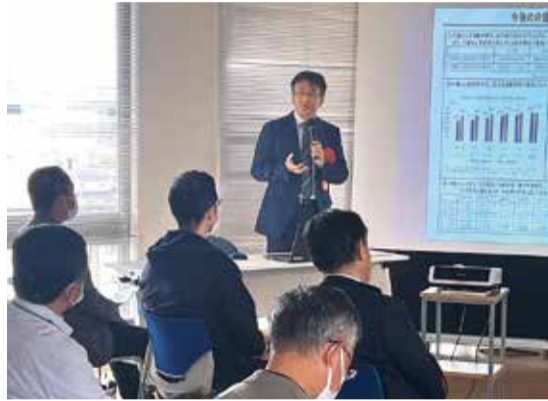
10月27日投開票された第50回衆院選では、ユニット議連の多くの議員が再選された。再選された議員は次のとおり。

中村裕之(比例北海道)、中野英幸(比例北関東)、齋藤健(千葉7区)、森英介(千葉11区)、安藤高夫(比例東京)、中西健治(神奈川3区)、牧島かれん(神奈川17区)、後藤茂之(長野4区)、稲田朋美(福井1区)、武藤容治(岐阜3区)、工藤彰三(比例東海)、長坂康正(比例東海)、谷公一(兵庫5区)、田野瀬太道(奈良3区)、渡海紀三朗(兵庫10区)、平口洋(広島2区)、吉田真次(比例中国)、鬼木誠(比例九州)、坂本哲志(熊本3区) (敬称略)

10月18日、厚生労働省は介護サービス利用者の選択に資する情報を提供する介護サービス情報公表システムの一部改正を行い、21日から適用されることを自治体宛に通知した。これは本年4月に、介護サービス事業者に対して都道府県知事への報告を求めるとする事項の一部の項目を追加する省令改正が行われたことに対応した措置。

事業所の財務状況が分かる書類の報告がシステム化 介護サービス情報公表システム一部改正される

今回新たにシステム対応されたのは財務状況が分かる書類の自治体への報告と職員(人当たり賃金の同報告(任意))。事業所の財務状況が分かる書類(財務諸表又は計算書類など)は、直近の事業年度を終えた時点で作成したものと、原則として財務諸表(事業活動計算書「損益計算書」、貸借対照表「バランスシート」)および資金収支計算書「キャッシュフロー計算書」を報告するものとするが、会計基準上求められ



厚生省峰村課長講演

9月28日、推進協は通算第5回目となる車座対話in福岡を開催した。冒頭、主催者を代表して牟田和男推進協福岡支部長(社会福祉法人誠和会理事長)が開会挨拶を行った。続いて厚生労働省老健局

災害時情報共有システムの活用を 能登半島地震の教訓

車座対話in福岡開催

高齢者支援課峰村浩司課長による「今後の介護施設をとりまく状況と課題」と題しての講演が行われた後、パネリストによる車座対話が行われた。

災害時の対応力強化が課題 能登半島地震を教訓に

峰村課長は、まず今後のユニットケアのあり方について触れ、現在のユニット型施設の整備状況が定員ベースで目標の70%に対して、令和4年度で48%に達したことを明らかにした。また、推進協からの要望などを踏まえ、今年度ユニット型施設管理者研修について受講を努力義務化したことも明らかにした。

さらに、今年1月に発生した能登半島地震にも触れ、現在も被災が続いており、医療機関などへの移送や県外も含めた2次避難が必要になっていくことや事業者不足、先行き不透明による復旧の遅れが課題とされた。



車座対話の様子

また、能登半島地震を教訓とすると、改めて災害に対する今後の課題として、災害時情報共有システム(別記参照)の活用が極めて低調であること、避難者の受け入れ先の確保、職員派遣の長期化、災害復旧の遅れの4点を指摘した。特に、災害時情報共有システムの活用については、被災した施設だけではなく、被災しなかった施設も被災状況を入力することで災害の規模が明らかになること、すべての事業所に入力するよう協力を呼びかけた。

災害時情報共有システム

令和3年度に厚生労働省が、介護サービス情報公表システムに災害時情報共有機能を追加し運用を開始したもの。災害時における介護施設・事業所の被害状況を国・自治体が迅速に把握・共有し、被災した介護施設などへの迅速かつ適切な支援につなげるためとしており、全国の介護施設などに活用を促している。

ユニットケアを正しく理解するためのステップを公開します!!

実地研修施設募集説明会

11月19日、推進協は実地研修施設募集説明会を開催します。実地研修施設を増やしていくための取り組みとして行われるものですが、「ユニットケアを正しく理解するための4つのステップを公開」し、「ユニットケアとは何か」を説明します。

ユニットケアを正しく理解するための4つのステップを公開し、「ユニットケアとは何か」を説明します。

開催日時 11月19日(火)14時~15時

申し込みはこちらから▶



ユニットケア研修推進事業合同会議

実地研修施設の拡大は急務 滋賀と大阪の2施設が合格

今年度第1回ユニットケア研修推進事業合同会議（杉原素子委員長）が10月18日、オンライン形式で開かれた。今年度（前期）のユニットリーダー研修実地研修施設選定調査に基づく合格が審議され、新たに申請があった3施設のうち2施設の合格が承認された。

合格したのは、社会福祉法人近江薫風会の特別養護老人ホーム「スマイル」（滋賀県米原市）と社会福祉法人優心会の特別養護老人ホーム「こうのとりの」（大阪市）の2施設。選定調査は「選定調査票」に記載された50個の評価項目に従って2人の調査員が採点し、平均70点以上で合格となる。

合格結果を受け、会議の事務局を務めた推進協の懸上忠寿事務局長は「実地研修未修了に関わる猶予措置が今年度で廃止され、受け入れ枠の拡大は急務

だ。各県に1～2カ所の研修施設が欲しい。一つもなかった滋賀県の施設が合格したのは良かった」と述べた。

利用者本位のアセスメント

また会議では杉原委員長が「ユニット型施設では利用者がどんな仕事で貢献してきた人なのかといった情報を得てケアをしているのか。施設ではどうしてもADL中心のケアになりがちだ」と問題提起した。特別養護老人ホーム「しょうじゅの里小野」の鳥澤清人施設長は「要介護度の平均が4・1で本人の意見を聞くのは難しいが、独自の聞き取りシートを使い、家族から過去の生活や趣味、好みなどを細かく聞いてケアに反映している」と取り組みを紹介した。

NPO法人「メイアイヘルプユ」の鳥海房枝理事・事務局長は介護サービスの第三者評価を行う立場から「アセスメントは基本中の基本だが、たくさん聞くのが良いことだというのは一方的な思いではないか」と述べ、どんな情報を集め、それがどうケアに生かされるのかを利用者自身が知るこの大事さを強調した。

運営計画書の意義を徹底へ PDCAで成功体験

リーダー研修講師研修会で

一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会（以下「推進協」）は10月16日から2日間の日程で、新横浜において令和6年度のユニットリーダー研修講師等研修会を対面方式で開催した。日頃、推進協が実施するユニットリーダー研修事業の研修講師、同実地研修の受け入れ担当者達で、宮城県や佐賀県など全国の18の実地研修施設から28人が集まった。推進協はユニット型施設管理者研修事業も実施しているが、こちらの講師などを対象とした同様の研修事業は6月に開催しており、その一環の研修会となる。

ユニットケアの定着促進策について議論



研修会は、開始時から参加者がグループに分けられており、冒頭、事務局から会議の狙いとして改めてユニットケアの定着促進と、今年度上半期のリーダー研修で明らかとなっている研修事業実施上の課題解決を目指すこと、さらにグループワークでの意見交換で交流をしてもらうことを想定している旨の説明で始まった。

初日はユニットケアの定着・促進について議論された。事務局からは最近のユニット型施設を取り巻く課題として、人材不足、複雑化する

日々の仕事に活かせる
内容が盛り込まれた



制度や加算、ユニットケアの優位性低下、研修に使える財源や人員の不足等多様の問題提起がされ、そんな中でも各施設はどのような取り組みを行っているのか、それでもなお残る課題はどのようなことかを、グループ毎に意見交換し発表してもらう形式で行われた。また、今後のユニットケア推進のためには、リーダー研修における運営計画書の作成と実践が重要とし、オリエンテーションの段階から作成の意義を伝えていく方針が示され、今後は研修講義の中でも計画から実践、再評価に至るPDCAで成功体験を積み重ねることを受講生に促して欲しいとの考えが伝えられた。

分野ごとにユニットケアを落とし込む

グループワークの発表では、ユニットケアは食事や排せつなどの各分野ごとに落とし込むことが必要であり、ユニットケアの考え方を使得（貴方は）何が出来ますかという問いかけをしているといった意見があったことなどが紹介



された。また、職員を守るため、仕事が終わっていても時間が来たら次の担当者にきちんと繋いでいくことに努めているといった発表もあり、職員のつなぎ止めに苦労している実態も紹介された。

課題の特定のため準備シートを活用へ

2日目はリーダー研修事業の内容に関し、事務局からは研修プログラムの一部である統合と実践に関する変更点の説明が模擬講義方式であり、特に今回新たに準備シートを導入することとなるため、その活用方法について詳細な説明があった。また、あらかじめ提出された課題についてはグループワークで議論が行われ、運営計画書1週間前までの実地研修施設への提出について徹底するなどの対応がとられることが明示された。

2日目の講義では特別養護老人ホーム天空の杜生活相談員の種延孝治氏と特別養護老人ホーム岐南仙寿うれし野介護統括部長の杉田美智代氏がアドバイザーを務めた。種延相談員からはユニットケアの理念の浸透が重要との認識が示され、杉田部長からは実地研修におけるリーダーの役割の重要性について指摘があった。

最後に事務局から来年度の研修事業の方針が説明されて2日間の日程を終了した。推進協は今回の研修会に参加できなかった他の実地研修施設の研修講師などを対象に周知のための研修会をZoom開催するとしている。

介護大学校から

令和7年1月26日（日）に実施される第37回介護福祉士国家試験に向けて、独自のサービスを留意しています。「国試対策直前講座」を令和7年1月10日（金）・17日（金）の2日間、推進協オリジナルの教材を使用し、約12時間のオンライン講義を行います。受講料は一人当たり3万円（税別）ですが、介護大学校の受講者は、無料で受講可能です。介護福祉士国家試験の受験の機会が1年に1回限りです。介護大学校は受講者全員の「合格」を全力で支援します。受講希望の方は、事務局までお申し込みください。

【第1期分校】

▽岐南仙寿うれし野分校（岐阜県）11月8日（金）、スクーリング終了。

【第2期分校】

▽しよなあさひが丘分校（愛知県）5月学級・開講中・8月学級・令和7年1月8日（水）スクーリング開始。

【第3期分校】

▽ところの苑分校（埼玉県）スクーリング開講中。

▽ゆう分校（三重県）12月5日（木）スクーリング開始。

▽みんなと暮らす町分校（神奈川県）令和7年1月6日（月）スクーリング開始。

【第4期分校】

▽ふあみいゆ行田分校（埼玉県）スクーリング開講中。

▽グリーンヒル八千代台分校（千葉県）令和7年2月5日（水）スクーリング開始。

【第5期分校】

▽あさくら苑分校（福井県）令和7年3月6日（木）スクーリング開始。

▽ゆずの樹分校（千葉県）令和7年3月8日（土）スクーリング開始。

【分校間の交流】

他の分校ではどのように研修が行われているのか、その実際を見学したいとの要望があります。見学を快諾して下さる分校との間で交流が深まっています。

神奈川県 社会福祉法人 兼 愛 会

特別養護老人ホームしょうじゅの里三ツ境

～ 地域に根ざし、あなたの大切な人を呼べる施設 ～

【施設概要】

住所：神奈川県横浜市瀬谷区三ツ境 78-1
 電話：045-744-7601 FAX：045-744-7604
 URL：mitsukyo@kenaikai.com
 【特養】29名（3ユニット）



裏手には長屋門公園があります。江戸後期に建てられた古民家と長屋門があり、歴史体験と自然体験ができ、昔の農村生活の雰囲気を味わったり、季節ごとの風景を楽しむことができます。

【歴史的な古民家がある長屋門公園】

横浜市瀬谷区は横浜市の最西端に位置し、緑が多く落ち着いて住みやすい環境です。最寄りの相鉄線三ツ境駅から徒歩14分の瀬谷で、珍しい平らなエリアに建てられています。裏手には長屋門公園があり入居者様と散歩するには最適な環境が用意されています。晴れた日には富士山と丹沢連峰が見え、3階のホールからは眺めを楽しむこともできます。また、2027年には瀬谷区でGREEN×EXPO2027が開催されます。入居者様とも今から楽しみにしています。



施設外観

【法人理念】

「親切と誠実」を具現化し、入居者様に限らず、働く仲間に対しても同様の想いで接する事を掲げています。地域密着型である当施設は近隣の方々の福祉拠点として存在価値を高める関りを進めています。

【自分で選んで買うのって、楽しい】

近隣の就労継続支援B型事業「ユリのささえ」の協力を受け第2・第4水曜日に販売に来ていただいています。1個100円・120円の作り立てパンを自分で選んでおやつや夕食として召し上がられています。ヤクルトの販売も毎週木曜日にあります。自分で選んで買う事は当たり前の日常だからこそ、あらゆる場面で選択してもらえように努めています。他にどんな環境を用意できるか職員と話す機会を大切にしています。



【スイカ割・ケーキバイキング】

入居者様が一番喜ばれるイベントが食べるイベントです。季節的には「すいか割」を楽しまれたり、おやつ代を調整し「ケーキバイキング」と称し、普段とは違ったおやつ時間を楽しんでいます。入居者様にどんなおやつが食べたいかなど普段の会話の中で聞き取



【堀口誠一統括主任から】

▽地域に根ざし「大切な人がそこで生活することができる」施設地域密着型は市内在住の方が入所可能な施設です。29名定員である事もあり、誰もが入居者様の事を知っています。1日の面会家族も近隣の方が多く他入居者家族と入居者様との関りもあり、アットホーム感が強い施設です。施設内は自由に行き来できる環境を用意しておりますので、ユニット間の入居者同士の関りもあります。職員には「自分も含め入所しても良い施設とはどんなものか」を形にしていける事ができるのはそこで働いている皆さんです、と伝えていま



▽地域に根ざし「大切な人がそこで生活することができ」施設地域密着型は市内在住の方が入所可能な施設です。29名定員である事もあり、誰もが入居者様の事を知っています。1日の面会家族も近隣の方が多く他入居者家族と入居者様との関りもあり、アットホーム感が強い施設です。施設内は自由に行き来できる環境を用意しておりますので、ユニット間の入居者同士の関りもあります。職員には「自分も含め入所しても良い施設とはどんなものか」を形にしていける事ができるのはそこで働いている皆さんです、と伝えていま

社会医療法人 昌林会 介護老人保健施設 昌寿苑

安心して暮らせる地域社会を目指して

【地域案内】
 介護老人保健施設昌寿苑は島根県安来市にある。米子空港（鳥取県米子市）からは島根県の観光名所、中海のほぼ対岸に位置する。施設へは米子市を経由せず、中海を横断するルートを通ると、テレビCMで有名になった「江島大橋」(通称「ベタ踏み坂」)を通る。因みにこの坂は、初めての者には登りも下りもやや怖い。



天まで伸びるような江島大橋

【法人紹介】

▽地域包括ケアの街づくりを推進
 経営法人である社会医療法人昌林会(杉原 建理事長)の歴史は古く、法人の沿革によれば、杉原診療所として開設された後、昭和33年に医療法人が設立されている。その後、平成21年に社会医療法人化され、「安



経営法人である社会医療法人昌林会(杉原 建理事長)の歴史は古く、法人の沿革によれば、杉原診療所として開設された後、昭和33年に医療法人が設立されている。その後、平成21年に社会医療法人化され、「安

く、法人の沿革によれば、杉原診療所として開設された後、昭和33年に医療法人が設立されている。その後、平成21年に社会医療法人化され、「安



取材に当たってくださった皆さま。左から新田新田施設長、廣江次長

心して暮らせる地域社会の実現に貢献する」という方針の下、平成30年には、島根県の地域医療構想における安来市の課題である「他地域への流出患者様の急性期治療後の早期受け入れ」のため、一般科40床の増床と新診療棟を建設した。また、令和2年には傘下の安来第一病院が救急告示病院に認定されている。

昌寿苑がある場所は広大な敷地に、安来第一病院の他、系列の社会福祉法人せんだん会が運営する特別養護老人ホーム、認知症グループ、ケアハウスの他、障害者サービスなども合わせて一帯的に整備されており、「地域包括ケア・コンパクトシティ ふれあいタウンやすぎ」とする街(ゾーン)を形成し、これからの地域包括ケアのモデルといった様相を呈している。



浴室



居室入口

(取材・懸上)

居室は広くとられており、入り口にはドアの他プライバシーに配慮してカーテンも設置されている。浴槽は個浴が取り入れられている。



4階フロアーユニット配置図

各フロアーはユニットに区切れ、各ユニットには日本各地の著名な地名が付けられている。



施設外観

【施設概要】

介護老人保健施設昌寿苑は安来第一病院と同一敷地内に平成25年にユニット型施設の特徴を取り入れて移転新築された。

介護「ユース・ダイジェスト

9月26日
10月25日

■昨年度の介護サービス利用者数は663万人(9月26日)

厚生省は23年度の介護給付費等実態統計の概況を発表した。1年間に一度でも介護予防サービスまたは介護サービスを受給したことのある人(年間実受給者数)は663万2千人で、前年度と比べて10万8千人増えた。費用額は1兆5139億円(前年度より2.9%増)。サービス種別では特養が2兆713億円(介護予防を除く)で2.2%増加した。

■介護福祉士養成施設への入学者が昨年度を上回る(9月30日)

日本介護福祉士養成施設協会は今年4月の養成施設入学者が6546人で昨年度から349人増えたと発表した。22年度から2年連続で前年度を下回っていた。新卒者と離職者訓練受け入れ数は減ったが、外国人留学生数が3054人と前年度から約7割増えた。

■厚労省 生産性向上加算のデータ報告は来年3月まで(9月30日)

介護施設などを対象に24年度の報酬改定で新設された生産性向上推進体制加算について、取得要件とされる生産性向上の取り組みに関する年1回の「実績データ」報告を、来年3月末までに行う必要があることを周知した。

■石破新首相 2020年代に最賃1500円へ(10月1日)

新内閣発足後の記者会見で「最大限の生産性向上や価格転嫁の支援を進めつつ、最低賃金を2020年代に全国平均1500円への引き上げを目指してまいります」と述べた。岸田前首相は昨年8月、30年代半ばまでに全国平均1500円を目指すと表明していた。

■新厚労相として福岡資麿氏が初入閣(10月1日)

同日発足した石破茂内閣の厚労相に自民党参院議員の福岡資麿氏(佐賀選挙区、当選3回)が就任した。福岡氏は初入閣。参院政審

会長、党厚労部会長などを務めた。推進協 CEC 研修事例研究会 開催(10月3日)

今年度前期のケア環境支援コーディネーター(CEC)研修の事例研究会を開催。事前研修を修了した7名が3カ月間の実践結果を発表。後期は12月13日に開催される予定。

■福岡厚労相 時代に合った社会保障へ転換(10月4日)

閣議後会見で、少子高齢化による地域社会の変化などに対応するため、「今の時代に合った社会保障制度へと転換するために改革を進めていく」と述べ、全世代型社会保障の構築に意欲を示した。

■介護職など調査 理想の年収額と133万円の差(10月8日)

マイナビが発表した「エッセンシャルワーカー(看護・介護・保育)に関する調査」によると、理想の年収額を現在と比べると平均で133万円足りなかった。一般会社員の89万円と比べて差が大きかった。また過去1年にベアがあった職員の割合は約16%にとどまり、金額も一般会社員と比べて平均1万円以上も低かった。

■厚労省 虐待防止策などの報告を全事業者に義務付け(10月9日)

介護保険法施行規則の改正に伴い、すべての介護サービス事業者に対して、利用者の人権擁護や虐待防止の取り組み、身体的拘束などに関する適正化に向けた取り組みの状況を都道府県への報告事項として追加したことを周知した。

■厚労省 利用者送迎の共同化などのルールを周知(10月11日)

通所介護など介護サービス提供に伴う利用者の車両送迎について、一定の条件を満たせば異なる事業所の利用者を同乗させてもよいとする取り扱いを周知した。また車両の空き時間を活用し、地域住民をスーパードライバーなどに送迎する取り組みも実施可能だとした。

■推進協 森英介前衆議院議員が出陣式(10月15日)

森前議員は自民党の個室ユニットケア推進議員連盟の会長



赤枝会長と森前議員

■財務省 賃金上昇に対応した財政支出議論を牽制(10月16日)

来年度予算案の編成に向けて議論する財政制度等審議会財政制度分科会で財務省は、社会保障分野で物価・賃金の伸びを給付に反映すると保険料率が上昇し、「現役世代の負担が増加(可処分所得が減少)することにも留意が必要」との姿勢を示した。

■マイナ保険証調査 7割の医療機関でトラブル発生(10月17日)

全国保険医団体連合会(保団連)はマイナ保険証トラブル調査第4弾(最終集計)の結果を公表した。39都道府県の1万2735医療機関のうち、70.1%に当たる8929医療機関で今年5月以降もマイナ保険証、オンライン資格確認のトラブルがあった。

■ケアマネ試験受験者が5年ぶりに減少(10月13日)

今年度の介護支援専門員実務研修受講試験(ケアマネ試験)が行われ、受験者数は全国で5万3718人で昨年度より2776人減った。受験者数が前年度よりも減ったのは19年度以来5年ぶり。

■厚労省 有料老人ホームの安定運営の徹底を求める(10月18日)

今年9月に同一法人が運営する東京都足立区など4カ所の住宅型有料老人ホームで、給料未払いにより職員が一斉退職し、入居者全員が転居したケースを受け、安定的で継続的な運営確保に向けた指導の徹底を都道府県などに周知した。

ズバリ回答！人事・労務のお悩み 逆パワハラは

【今月の相談内容】

先月、近隣の特別養護老人ホームのユニットリーダーだった介護職員が、当施設のユニット全体を統括する介護長として採用されました。最近、その介護長から相談があるとのこと、ハラスメント窓口担当の私のもとを訪れました。相談内容は次の通りです。「ベテランの介護職員から、『この程度のことでも知らないのによく介護長になりましたね』『指示は出さないうで結構です。全部私たちがやりますので、黙っていてください』などと言われたり、話しかけても無視されて立ち去られたりするため、現場運営を行うことができない」というものでした。このような状況にどう対応すべきでしょうか。

【回答】

このような状況は、いわゆる「逆パワハラ」と呼ばれる問題である可能性があります。組織全体に深刻な影響を及ぼす可能性があります。但し、認定にはセクハラ以上に慎重さが必要です。対応の際は以下の点に注意が必要です。

- 1 影響の深刻さ
- ・ 介護長の心理的ダメージは大きいと考えられます。
- ・ 人事制度の信頼性が損なわれる恐れがあります。

【対応の方針】

- 2 対応の方針
- ・ 強硬な態度は関係性をさらに悪化させる可能性があるため避けるべきです。
- ・ 施設長など、介護長より上位の役職者が解決支援を行うことが望ましいでしょう。
- 3 具体的な対応手順
- a 施設長等が状況把握と対応の責任を負います。
- b 相談者(介護長)、行為者(ベテラン職員)、周囲の職員の順でじっくりと話を聞きます。
- c 聞き取りの各段階で即断を避け、全体像を把握します。
- d ハラスメントの認定を含め、現場運営の正常化を目指した改善策を検討します。
- 4 フォローアップ
- ・ ベテラン職員への改善指導を行い、指導書の取り交わしなどで経過観察をします。
- ・ 改善が見られない場合は、懲戒処分の検討も必要になる場合があります。
- 5 予防策
- ・ 施設内でハラスメント防止研修を実施します。
- ・ 新任の介護長へのサポート体制を強化します。

このように対応することで、個別の問題解決だけでなく、組織全体の健全性維持にも寄与できると考えられます。



推進協監事・特定社会保険労務士 栗田淳二

【入会施設のご紹介】

- 【岐阜県】(特養) エバーグリーン (福) 薫風会
- 理事長 加納 忠行
- 施設長 大村 弓子
- 岐阜県多治見市小名田町西ヶ洞 1-325
- 【会員施設数】 395施設
- (令和6年10月31日現在)

事務局から

【眠気の変り目】には、体内リズム 季節の変わり目には、体内リズム

2024年度 友共事業 共につくり、友に学ぼう、共に ユニット型施設 事例研究募集

詳細はホームページにて

募集期間：2025年3月31日まで

テーマは自由♪

令和6年4月より、介護職員は年2回の虐待防止研修の受講が義務化されます。

厚労省 虐待防止研修対応 虐待防止研修 (Eラーニング)

1本1時間

Eラーニングなのでいつでも視聴可

一般職員向けのオンライン研修

ユニットケア 基礎研修

【プログラム】 13時~16時45分

【内容】 ユニットケアの理念と特徴他(GWあり)

ユニットリーダー研修と同じテキストを使用。同じ講師が担当いたします。